

# JR西日本に対する運輸安全マネジメント評価（第4回）の概要

（10月26日（月）～27日（火） 於：JR西日本本社等）

## 1. 概要

### （1）出席者

国土交通省：大臣官房運輸安全政策審議官、同首席運輸安全調査官、  
近畿運輸局次長 等

JR西日本：佐々木社長、西川鉄道本部長（安全統括管理者） 等

### （2）日程

10月26日（月）

午前	オープニングミーティング、社長・安全統括管理者インタビュー	
午後	部課長インタビュー	大阪支社、天王寺電車区視察

（注）評価開始時、天王寺電車区現場視察状況、大阪支社長とのインタビュー冒頭は報道関係者に公開

10月27日（火）

午前	書類確認
午後	評価チーム内部打合せ
15:00	クロージングミーティング
16:00	記者発表（予定）

## 2. 評価結果

JR西日本における安全管理体制については、昨年の評価時と比較し、以下に掲げる点については、見直し・改善がなされており、評価します。

- ① 輸送の安全に係るコミュニケーションの改善に向けた取組みの推進
- ② 年間約3万件に及ぶ安全報告・気かり事象を収集し、それら情報に対し迅速に対応するとともに、同取組みに係る教育・訓練を継続的に実施するなど、リスクアセスメントの取組みを充実していること

しかしながら、安全風土・安全文化の構築と定着を図り、安全性をスパイラルアップさせるためには、安全管理体制の自律的・継続的な改善が不可欠であり、以下に掲げる点について更なる取組みを講じることについて、ご検討下さい。

- ① リスクアセスメントに係る各支社や現場における優良事例や事故・ヒヤリハット情報を把握し、それら事例を本社、支社、現場の各レベルで共有することにより、会社全体として安全の取組みのレベルアップを図ること

一方、最近における福知山線脱線事故調査に係る情報漏えい等の働きかけ等の事実を鑑みれば、平成21年9月28日付けの国土交通大臣による命令書に従い、徹底的な事実調査による事実の究明、再発防止策等の改善措置を講ずるとともに、今後における安全管理及び事故防止対策の徹底を図るため、次の事項について早急を実施することが必要です。

- 1 安全確保に関する経営トップのコミットメントを改めて発出し、今後における安

全確保の姿勢を明らかにすること。また、その考え方を現場職員を含む全社員に徹底し、全社一丸となって安全確保を図るための体制を改めて構築すること

2 安全確保については、経営トップと現場職員の相互理解に基づいた現場の安全意識の向上、安全対策への取り組みが不可欠であることを踏まえ、経営トップと現場職員のコミュニケーションの充実、現場職員の意見や提案を安全対策に反映させるシステムの構築や充実を図ること等、現場職員による主体的な安全対策への取り組みを徹底するために必要な対策を実施すること

3 上記1及び2の対策の実施状況について、可及的速やかに国土交通省に対し報告すること。

なお、当運輸安全監理官室においては、上記3の報告を受けた後、上記1及び2の対策の実施状況等を評価するため、貴社に対する運輸安全マネジメント評価を実施する予定です。

以上